

## 諸症状・疾患（問 20～22）に関する分析・検証について

総合的には次のことが考察されました

- 1) 60 歳以上が 724/1326 人であり、何らかの疾患を有する人が多いと考えられた。医療支援が必要である
- 2) 重篤な疾患（がんや心臓疾患など）を持っていて、すぐにでも医療受診が必要な人が少なくなかったと推定される
- 3) 循環器内科、呼吸器内科、整形外科、眼科、歯科、精神科といった専門科の受診が必要である
- 4) 医療従事者によるアウトリーチ活動が必要（自ら相談に来ることができない可能性が考えられる）
- 5) 疾患や障がいが原因で路上生活化した可能性が示唆
- 6) 『その他』に記載されたものは、考察がなされれば、問に組み込む必要はない
- 7) その他の項目を、診療科毎に分類してもよいかもしれない。3) と絡めて。
- 8) 質問項目は、もっと洗練させたい
- 9) 調査対象者を選択した方法に偏りがあるため、調査結果は路上生活者全体を表していない。よって割合の大小を言うことはできない。一方で、早期に医療介入すべき人が少なくないことは明らかとなった

問 20 諸症状 について

問20. 諸症状

全 体		めまい	しびれ・麻痺	咳が続く	微熱がつづく	腹痛	ひどい下痢が続いた・激しい	皮膚のかゆみや発疹	目やにが出る・目がかすむ	食欲不振	急激にやせた	ひどくだるい	耳鳴りがひどい	吐き気・嘔吐・胃の痛み	むくみ	頭痛	腰痛	歯が悪い	体の節々が痛む	よく眠れない日が続いた	2週間以上毎日のように落ち込んでいた時期があった	その他	なし
10	年齢	30歳未満	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
39		30-39歳	10.3	12.8	7.7	10.3	7.7	10.3	7.7	7.7	10.3	12.8	5.1	17.9	7.7	17.9	25.6	38.5	12.8	35.9	15.4	5.1	30.8
155		40-49歳	12.9	9.0	15.5	3.9	7.7	11.6	8.4	3.2	5.2	9.0	6.5	9.7	5.8	9.0	21.3	30.3	12.3	23.2	7.1	14.2	32.3
385		50-59歳	14.0	14.0	11.2	5.2	9.6	14.8	13.0	3.9	8.1	8.3	8.1	9.4	6.8	9.6	28.1	34.5	13.2	16.1	6.8	21.3	22.6
724		60歳以上	14.6	15.9	12.7	4.8	7.6	13.0	14.5	5.5	6.8	9.9	7.7	9.5	6.6	8.7	24.6	34.7	15.5	17.0	6.5	22.5	23.9

① デンドログラムから読み取れること

上部8-14の距離に入る人は、病状が重症の可能性はある

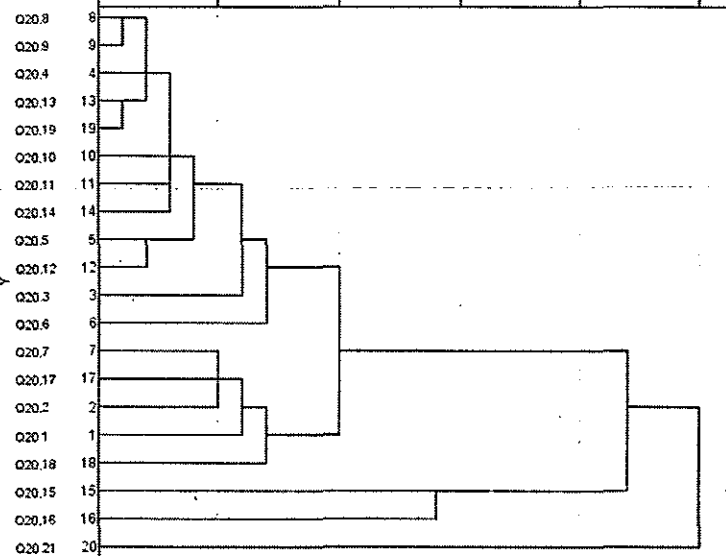
例；がん、心不全、肝硬変、うつ病など

早急に医療が必要

Ward法を使用するデンドログラム

再調整された距離クラス結合

- 8 食欲不振
- 9 急激にやせた
- 4 微熱がつづく
- 13 むくみ
- 19 2週間以上毎日のように落ち込んでいた時期があった
- 10 ひどくだるい
- 11 耳鳴りがひどい
- 14 頭痛
- 5 ひどい下痢が続いた・激しい腹痛
- 12 吐き気・嘔吐・胃の痛み
- 3 咳が続く
- 6 皮膚のかゆみや発疹
- 7 目やにが出る・目がかすむ
- 17 体の節々が痛む
- 2 しびれ・麻痺
- 1 めまい
- 18 よく眠れない日が続いた
- 15 腰痛
- 16 歯が悪い
- 21 なし



- ・対象項目：問20の選択肢、ただし「その他」は除く
- ・対象件数：1317件（無回答は除外）
- ・分析条件：SPSS Statistics ver.20 を使用し、Ward法（平方ユークリッド距離による間隔測定）による分析

② 問 20 のケース%から

1) もっとも割合が多かったのは歯が痛い **33.9%**

歯科受診支援が必要；ケアを受けられないため、重篤な感染症に至って、いのちに危険の及ぶ可能性がある

2) 一日でも早い医療受診が必要

ひどくだるい、急激にやせた、食欲不振などは、病状が重いと考えられる。一日でも早い医療受診が必要

3) 2週間以上毎日落ち込んでいた **6.9%**

うつ病の可能性がある。適切なケアが受けられないため自死リスクが高いと考えられる。また、この項目が yes の人は、すでに自死をしているか保護を受けている可能性があり、実態はもっと多いかもしれない。若い世代で割合が高い。

4) よく眠れない日が続いた **17.8%**

不眠は心身を不調にする。安心して眠れるシェルターがすぐに用意されなければならない。若い世代で割合が高い。

5) 目やにが出る、目がかすむ **13.0%**

この質問項目は、選択するためには分かりにくかったかもしれない。その他の分類で、視力に関する訴えを言う人が少数いた。視力が原因で仕事を失った人が一定割合あるかもしれない。視力に関しての具体的な質問項目を足すと、数が増えると考えられる。

6) 腰痛 **25.3%**

肉体労働に従事していた人にとって、腰痛は仕事を失うことを意味する。住所不定でも仕事が得られるのは肉体労働ばかりである。就労支援を検討するときには、身体の痛みへのケアが必要と考えられる。③の1) と合わせて検討しなければならない。

7) めまい **14.0%**

心臓疾患など重症疾患が原因でめまいを訴える人がいるかもしれない。平均年齢の高さから、めまい症状は重症疾患を意味する可能性がある。

8) これらの質問項目と支援について

いずれの症状も、適切なケアが受けられなければ人命に関わる可能性がある。生活保護などの相談窓口は、これらの症状を丁寧に聞き、適切な医療支援をしなければならない。

### ③ その他の分類について

#### 1) 『痛み』に分類される人が多い

肉体労働に従事していた人が多いため、腰痛やひざの痛みなどが原因で仕事ができなくなった可能性がある（支援活動の中ではよく聞く話であり、調査結果でもそれが推察された）。

また、身体の節々が痛む、という表現は難しかったかもしれない。風邪症状でなるかもしれないし、関節や筋肉など運動器の痛みかもしれない。いずれにしても、医療と、休養できる緊急シェルターが必要である。

#### 2) 風邪症状

という項目をつくってもいいくらい記載が多かった。これが結核を意味している可能性は拭えない。貧困層に結核患者が多いことは他の調査で明らかであるため、結核検診の介入は引き続き急務である。問 20 で咳と微熱の両方を記載している人は、結核の可能性を考えなければならない

#### 3) 精神症状

幻覚や強い不安など精神症状を訴える人がいた。具体的な精神疾患病名を診断されている人もいた。問いの仕方を変えると、この数は増えると思われる。自死リスクが高いため、適切な医療ケアが急務である。同時に、安心できる居住空間が必要である。現在、路上生活から脱する場合に、まずは集団生活を強いられる現状がある。この状況が数日であればまだよいが、数か月や数年に及ぶことも稀ではない。このような状況に耐えられる人は一般的に少ないが、精神症状を持つ人にとっては耐えられるものではない。一端保護を受けても失踪する可能性が高く、実際に失踪する人は多い。本人の責任ではなく、保護する体制不備の問題である。まず最初に、適切な住む場所を支援しなければならない。

#### 4) 問 2 1 か 2 2 に書くべきだった人

高血圧を、病名ではなく症状と思っている人が、問 20 に書いた可能性がある。次回調査をするときは、調査員がもう一度聞き直さなければならない。

#### 5) 心臓疾患の可能性

たちくらみ、めまい、意識消失、動悸、胸痛、息切れを訴える人が少なくない。これらの項目が合致した人は、循環器内科、呼吸器内科受診が緊急に必要である

#### 6) 身体障がい者が多いかもしれない

脳梗塞後遺症、視力障害、身体のしびれ、肝硬変などを訴える人がいた。具体的にこれらの症状がある人は、身体障がいを持つ人として適切なケアが受けられる必要がある。質問項目を洗練させることによって、身体障がいに関する支援が必要な人の割合が、より高いと考えられる

#### 7) 便秘

その他の回答に少なくなかった。実際に問の中に入れると多いと考えられる。便秘症は様々な疾患に関わるため、重要な質問項目である

## 8) 尿に関する悩み

前立腺疾患に関わる症状を訴える人が少なくなかった。これも、問20の症状に含めると数は多かったと考えられる

## 9) 重症者

すぐにでも医療受診をしなければならない重症な人がいた。もしも無料の医療相談会場を設置すれば、すぐに受診につながることもできるかもしれない。一方で、自分から相談に来られない人もいるのが事実である。相談会場に来る人とは、相談したら何とかかなと思えている人のみであるから、相談してもどうにもならないと考えていたり体験したりしている人は、相談会場に来ない。積極的に医療的なアウトリーチ活動が必要である。

## 10) 問2.0の質問の仕方

いくつかの項目は、質問の仕方を変えるべきだったかもしれない。具体的な支援方法が検討できるよう調査項目を検討しなければならない

例1 「痛み」は就労に関わる

例2 心臓疾患などすぐに医療受診が必要と考えられる人たち

例3 身体障がいを明らかにする項目

例4 希死念慮に関する項目

## 11) 医療の積極的介入により路上生活から脱することができる人たちが多くことが示唆

心身の疾患が原因で、就労ができなかったり、集団生活を強いられる施設での保護を受けられないと感じる人が多いことが示唆された。

循環器内科、呼吸器内科、整形外科、歯科、眼科、精神科など専門的な医療介入は、相談の仕方が分からない人たちにとっては、相談の敷居を下げ、具体的な支援につながる

### 参考: 問20 「その他」の具体的記述(サンプル番号順に抜粋)

No.	問20
11003	突然意識を失う
11007	足痛(ひざ)
11015	鼻水。足が痛む
11022	血圧がちょっと高い
11023	腰の血が引いていく感覚がある
11030	今、カゼぎみ
11032	筋肉痛
11037	気持ちが悪い。
11042	足がいたい
11043	足がケイレンした。
11045	かぜをひいている
11047	白内障
11053	胸が痛い、苦しい
11054	カゼ程度はある。1日くらい
11068	頭痛で受診したが問題なかった
11078	首の痛み 通院したが何ともないと言われた
11083	精神病、対人恐怖
11085	はなみず、耳が遠い、耳が痛い

11090	たばこの吸いすぎによるおえつ
11095	動き、息ぎれ
11098	左膝が痛い
11099	鼻水
11100	足・腰の痛み
11101	脳梗塞
11104	心臓痛
11105	糖尿病。自覚症状はないが糖尿のけがある、と医師に言われたことがある。糖尿痛ではないが。
11109	左手小指に指輪がくい込んでいる。
11113	現在口内炎になっている。
11114	物忘れ
11115	動悸
11120	足の痛み、全身症状悪い
11121	鼻水がよく出る
11126	ケガ 赤羽会館でおそわれた時 脳コーソク疑い
11134	ピテイ骨打って痛い
11137	脚気
11138	足首が痛い
11139	風邪症状
11144	脳梗塞後遺症
11147	カゼ
11148	座骨神経痛
11151	立ちくらみ、風邪
11153	風邪の症状あり
11154	内臓が弱い、肩が痛い
11155	風邪
11164	頸椎の痛み
11171	老眼
11175	左腕、左足が痛む。
11178	足が痛い
11182	ひざの神経痛
11183	化粧物にとりつかれている
11188	たちくらみ
11191	吐血 年1回程度
11193	足が痛い(時々つる)
11194	蓄膿症
11197	体が(特に足が)上手く動かなくなってきた。
11198	白内障
11199	足が悪い
11200	ねんざ
11202	風邪
11205	痛風、脇の筋肉の痛み
11212	心臓がドキドキする 市販の救心を持っている
11214	片目を失明している(右)
11216	視力低下
11217	左足首をひねった
11223	夏に意識消失
11226	胃もたれ、胸やけ
11228	●●でないが落ち込む事がある
11229	痛風
11234	骨粗鬆症
11238	便秘
11245	足が痛い→空きかん漬して。

問 21 路上生活をしてからの病気 について

問21. 路上生活をしてからの病気

全 体		高 血 圧	胃 ・ 十 二 指 腸 潰 瘍	糖 尿 病	肝 炎	ヘル ニア (腰 痛 等)	皮 膚 の 病 気	ア ル コ ー ル 依 存 症	結 核	等 歯 の 病 気 (虫 歯、 歯 槽 膿 漏)	う つ 病	そ の 他	病 気 は な い	受 診 し て い な い の で 病 気 か ど う か わ か ら な い	
1326	全 体	11.2	3.1	2.3	1.3	3.2	1.8	1.4	0.7	7.2	0.6	13.7	29.2	37.9	
10	年 齢	30歳未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	50.0	40.0	
39		30-39歳	0.0	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	5.1	0.0	5.1	2.6	5.1	41.0	35.9
155		40-49歳	7.7	1.9	0.6	1.3	3.2	1.9	1.3	0.0	6.5	1.9	11.0	32.3	40.0
385		50-59歳	11.2	4.4	3.6	1.3	4.2	2.3	2.1	0.8	9.6	0.5	11.2	28.8	38.7
724		60歳以上	12.8	2.8	1.9	1.2	3.0	1.7	1.0	0.8	6.4	0.3	16.0	27.8	37.2

①その他に書いてあるいくつかの項目

疾患や障がいがある路上生活の原因となった可能性がある

疾患や障がいがある原因となって仕事を失い、路上生活化した人が多いと考えられるほどの重症疾患が多かった。今後、路上生活化した原因として、疾患や障がいがある関連するかを調べられるとよい。

②ヘルニア

この問は意味がなかったし、結果を歪めたかもしれない本来、腰痛や痛みが原因で仕事を失って路上生活化した人たちがいることを明らかにしたい項目であるはず。

この質問をした結果、痛みで困っている人がどれくらいいるかがわからなくなってしまった(チェックできない)。たとえば、腰痛や坐骨神経痛と診断されたが、ヘルニアと診断されていない人は、この項目にチェックできない。

③肝炎

その他の記載から、肝炎と肝硬変が違うと思っている人がいると思われた。この質問項目も、結果を歪めたと考えられる

参考:問 21 「その他」の具体的記述(サンプル番号順に抜粋)

No.	問 21
11001	腸ねんてん
11014	もう腸
11018	つうふう ヒザ関節炎
11042	左足骨折(交通事故による)
11045	肺炎
11064	尿管結石
11075	凍傷 路上中に凍傷になり、田舎に帰って入院したことはある。

11083	対人恐怖症3年半前 肺気腫
11086	体温が低く(我まんできる)低体温 特に問題ない
11088	城北センター健康相談→精密検査をやらないで台東区で寮に行くように言われる
11089	ゆびを切った 怪我
11095	動き、息切れ
11101	脳梗塞
11104	狭心症
11109	骨が曲がっている 胃がん
11110	腸ねんてん
11113	口内炎
11129	脳コウソクの後遺症
11137	かぜ
11144	脳梗塞
11148	脱腸
11164	頸椎あたりが痛い
11166	ぎっくり腰
11173	胃がん
11174	右肩痛
11176	過労
11177	昔受診した時に血圧高かった。肝臓も悪い(酒)
11182	腹水
11188	腸ねんてん 左手甲にヒビ 左ひざに水がたまる。
11195	脳血栓、前立腺
11205	痛風
11207	不整脈低血圧
11218	心肥大
11233	胃ガン、他失念
11234	転倒、頭部傷、救急搬送
11237	食道静脈瘤
11239	昨年頭と手首の負傷。目白病院に救急搬送→ケガ
11240	肺がん
11248	交通事故
11263	神戸の時、精神病院に行ったことがある
11266	結石
11288	左手の骨折
11292	すい臓が腫れている。
11333	ちくのう症
11340	ヒザの痛み
11345	熱中症
12007	のどの出血(検査)
12015	てんかん
12019	貧血 検査
12020	口頭ガン
12033	ポウコウ炎
12039	痛風
12053	栄養失調
12054	腸の調子が悪かった
12070	食中毒
12072	盲腸
12074	食後必ず腹痛がある
12078	統合失調症
12100	骨折(事故)
12106	痔



12107	肩、腕を痛めた。
12116	悪い所だらけ
12134	動脈の手術をした
12135	貧血
12137	交通事故(右手)
12138	骨折
12149	肝臓
12156	腹水 肺気胸
12164	火傷
12167	痛風
12168	眼(まっすぐみえない見づらい)
12177	食中毒
12187	痛風
12196	脳梗塞
12201	拡張型心筋症
12222	風邪
12235	外傷
12238	受診したが病名は聞いてない
12241	ぜんそく
12245	統合失調症
12261	肺気腫
12286	結石
12305	熱中症
12309	前立腺肥大症
12315	腸閉塞
12320	高脂血症
13009	急性腸炎
13020	肝硬変
13037	かゆみ
13050	足のケガ
13067	パニック障害
13070	いっぱいある。おしっここの病気 前りつ腺ひだい
13072	へんけいこかんせつしょう マルビンワイツしょうこうぐん→入院
13074	ざ骨神けい痛
13076	血便
13087	熱中症
13099	心筋こうそく
14001	ぜんそく
14002	もうまくはくり、骨折
14003	白内障 尿道けっせき
14029	2010年に胃の手術をしたが(10cm切ったが)何の病気なのか忘れた。多分、潰瘍ではないと思う。
14034	不明 胞のレントゲン撮映して薬を半年間飲んでた。(TB?)
14036	高脂血症

問 22 路上生活をする前の病気 について

問22. 路上生活をする前の病気

全 体		高 血 圧	胃 ・ 十 二 指 腸 潰 瘍	糖 尿 病	肝 炎	ヘル ニア (腰 痛 等)	皮 膚 の 病 気	ア ル コ ー ル 依 存 症	結 核	等 歯 の 病 気 (虫 歯、 歯 槽 膿 漏 等)	う つ 病	そ の 他	病 気 は な い	受 診 し て い な い の で 病 気 か ど う か わ ら な い	
1326	全 体	8.4	5.7	3.3	1.7	6.9	1.2	1.1	1.7	8.0	0.8	15.5	44.5	13.3	
10	年 齢	30歳未満	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	10.0	
39		30-39歳	5.1	2.6	0.0	7.7	2.6	0.0	2.6	0.0	5.1	7.7	20.5	51.3	5.1
155		40-49歳	7.7	3.2	1.9	1.3	9.7	1.9	1.3	2.6	11.6	1.9	18.1	42.6	11.6
385		50-59歳	8.8	4.2	4.7	1.6	8.1	1.6	2.1	1.3	9.1	0.8	15.3	44.9	9.1
724		60歳以上	8.8	7.5	3.2	1.7	5.9	1.0	0.6	1.8	6.6	0.3	14.5	44.1	16.3

命に関わる重症疾患を有する人が、その他の項目に記載されていた。

問20, 21に比べると重症である。それにもかかわらず、路上生活のままであるのが何故なのか、どういった支援が足りないのかを議論しなければならない。医療から福祉につながる丁寧な支援が必要である。

参考:問22「その他」の具体的記述(サンプル番号順に抜粋)

No.	問 22
11001	ギランバレー症
11009	肺きしゅ、心肥大
11012	神経科
11013	脂肪肝入院2ヶ月
11018	たんせき
11020	不明(入院したが病名はおぼえていない)
11024	大動脈りゅうかいり
11028	妄想 脳細房をハカイされた。
11035	腰痛
11047	けんこうしんだんで血圧が低いと言われた
11050	肺気胸
11051	けいつい損傷
11056	足の骨折で入院した
11061	アレルギー
11062	肺に水がたまった 入院して水をぬいた。
11067	小さいころ小にマヒと言われた
11077	腸ねんてん (1)腸ねんてんその後難病のギダンバレー症こうぐんにかかり7ヶ月入院、病院名忘れた
11082	たんのうを片方とっている。
11084	もらちやう
11093	じんぞうけっせき、入院なし
11094	関節痛 リウマチ
11099	覚えていない

11102	肝臓・腎臓
11114	盲腸で入院
11121	肺門リンパ 小さい頃
11129	脳内出血開頭手術
11133	腰痛
11147	ジフテリア
11158	ぎっくり腰
11159	へんとうせんの手術をした
11162	病名不詳
11163	腎臓
11164	首(頸椎が狭くなっている)
11169	肺(白くなった)
11170	痛風
11177	交通事故の後遺症によるもの、神経痛など
11182	尿結石
11186	右耳の中耳炎(手術済)
11187	腎臓病
11189	心疾患
11194	蓄膿症
11200	たん石(じん臓)
11202	アルコール関係の病気(てんかんに近い)
11212	膀胱炎
11229	痛風
11231	狭心症
11234	肺シンジュ(良性結核)
11236	交通事故で右顔面神経マヒ。右目動かない
11237	ちくのう症。1カ月半入院。結社の前。子供の頃。
11239	一度、血を吐いたことある。飲みすぎて
11247	意識消失
11291	健診で言われたが思い出せない
11294	小児マヒ 左腕マヒ
11297	脳溢血
11314	眼力低下
11318	こうし血症、不整脈
11329	火傷
11340	ヒザの痛む
12007	左ひじ 肺(内出血) 殿部 骨折入院
12036	右眼が視力が出ない
12038	ぜんそく
12040	尿管結石
12044	栄養失調
12049	高脂血症
12050	緑内障
12052	心筋梗塞
12055	脳こうそく
12056	かんぞう
12060	強迫神経症

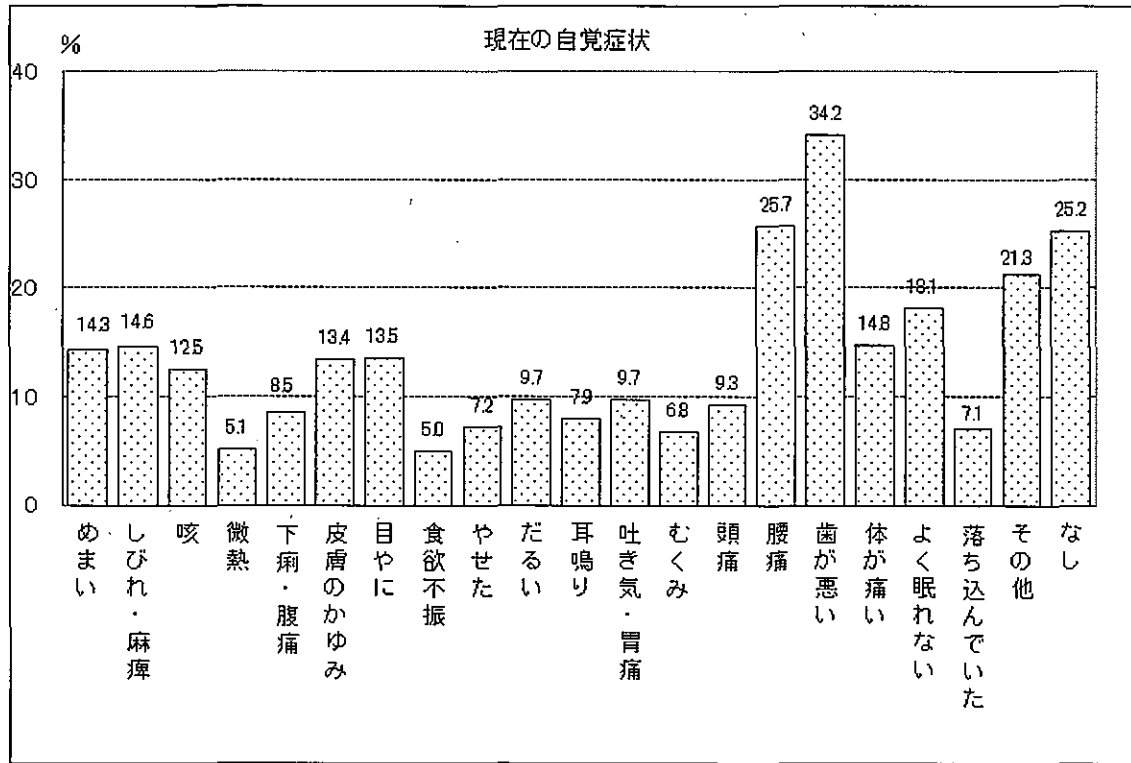
#### 第4章 健康状態

次に具体的な自覚症状については、「歯が悪い」が455人(34.2%)で最も多く、次いで「腰痛」が342人(25.7%)となっている。

一方、「なし」と回答した者は、335人(25.2%)となっている。(表20)

表20 問20 路上(野宿)生活している間(路上(野宿)生活の長い方はここ1年以内)で、次のような症状がありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
01. めまい	190	5.0	14.3
02. しびれ・麻痺	194	5.1	14.6
03. 咳が続く	166	4.4	12.5
04. 微熱が続く	68	1.8	5.1
05. ひどい下痢が続いた・激しい腹痛	113	3.0	8.5
06. 皮膚のかゆみや発疹	178	4.7	13.4
07. 目やにが出る・目がかすむ	180	4.8	13.5
08. 食欲不振	67	1.8	5.0
09. 急激にやせた	96	2.5	7.2
10. ひどくだるい	129	3.4	9.7
11. 耳鳴りがひどい	105	2.8	7.9
12. 吐き気・嘔吐・胃の痛み	129	3.4	9.7
13. むくみ	91	2.4	6.8
14. 頭痛	124	3.3	9.3
15. 腰痛	342	9.1	25.7
16. 歯が悪い	455	12.0	34.2
17. 体の節々が痛む	197	5.2	14.8
18. よく眠れない日が続いた	241	6.4	18.1
19. 2週間以上毎日のように落ち込んでいた時期があった	95	2.5	7.1
20. その他	284	7.5	21.3
21. なし	335	8.9	25.2
有効回答数	3,779	100.0	283.7
有効回答者数	1,332	99.3	
無回答	9	0.7	
合計	1,341	100.0	

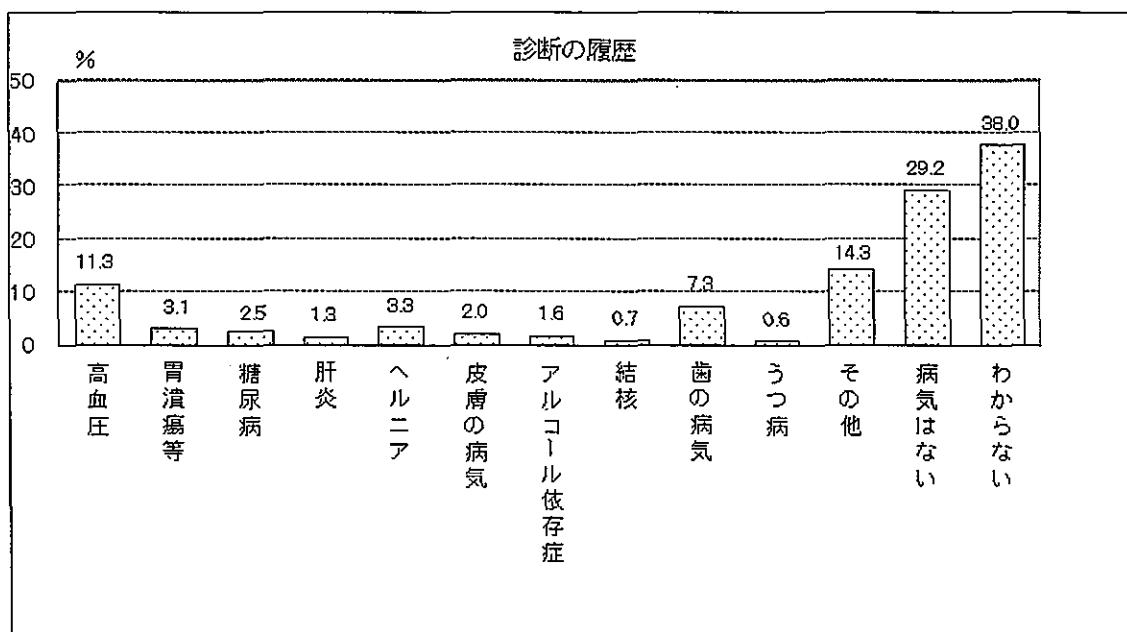


路上生活をしてから具体的に診断された病気については、「高血圧」が最も多く151人(11.3%)となっている。

一方、「病気はない」と回答した者は389人(29.2%)、「受診していないので病気かどうかわからない」は506人(38.0%)となっている。(表21)

表21 問21 路上(野宿)生活をしてから、次のような病気であると診断されたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
01. 高血圧	151	9.9	11.3
02. 胃・十二指腸潰瘍	41	2.7	3.1
03. 糖尿病	33	2.2	2.5
04. 肝炎	17	1.1	1.3
05. ヘルニア(腰痛等)	44	2.9	3.3
06. 皮膚の病気	26	1.7	2.0
07. アルコール依存症	21	1.4	1.6
08. 結核	9	0.6	0.7
09. 歯の病気(虫歯、歯槽膿漏等)	97	6.3	7.3
10. うつ病	8	0.5	0.6
11. その他	190	12.4	14.3
12. 病気はない	389	25.4	29.2
13. 受診していないので病気かどうかわからない	506	33.0	38.0
有効回答数	1,532	100.0	115.2
有効回答者数	1,331	98.0	
無回答	10	2.0	
合計	1,341	100.0	



路上生活をする前に具体的に診断された病気については、「高血圧」が最も多く113人(8.5%)となっている。

一方、「病気はない」と回答した者は591人(44.4%)、「受診していないので病気かどうかわからない」は180人(13.5%)となっている。(表22)

表22 問22 路上(野宿)生活をする前から、次のような病気であると診断されたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
01. 高血圧	113	7.5	8.5
02. 胃・十二指腸潰瘍	77	5.1	5.8
03. 糖尿病	45	3.0	3.4
04. 肝炎	23	1.5	1.7
05. ヘルニア(腰痛等)	91	6.0	6.8
06. 皮膚の病気	18	1.2	1.4
07. アルコール依存症	15	1.0	1.1
08. 結核	23	1.5	1.7
09. 歯の病気(虫歯、歯槽膿漏等)	108	7.2	8.1
10. うつ病	12	0.8	0.9
11. その他	213	14.1	16.0
12. 病気はない	591	39.2	44.4
13. 受診していないので病気かどうかわからない	180	11.9	13.5
有効回答数	1,509	100.0	113.5
有効回答者数	1,330	98.0	
無回答	11	2.0	
合計	1,341	100.0	

